



## 紙の何か

# 宮下奈都

車の中にメモ帳を持っている。白いペー  
ジを常に開いて、そこにペンを差した状  
態で、助手席に置いてある。運転してい  
ると、なぜかふとした拍子に何かを思い  
ついてしまう。点滅する信号を見て、街  
路樹の若葉を見て、商店の閉ざされたま  
まのシャッターを見て、なぜか何かと呼  
び起こされる。何か、というのはそのと  
きどきの何かだ。考えた何かではなく、  
どこからか思いついた何か。そして、思  
いついた瞬間、最高の輝きを見せる何か。  
息が止まるくらいの、すごくいい何か。

そういうときは、息を止めたまままだ。  
急いで道路を見渡して、車を止められる  
場所を探す。私の住んでいる町では、た  
いてい道は空いているので、さほど苦勞  
せずに停車する場所を見つけることがで  
きる。停めたら、呼吸と一緒に何かがあ  
げて行ってしまわないように気をつけな

がら、一気に手帳に書きつける。

その「何か」の正体がわからない。そ  
のときを逃したら、もうつかまえられな  
いような気がして、必死で書きとめるの  
だけれど、錯覚かもしれない。そのとき  
限りのものでしかないのなら、初めから  
なくていいものなのかもしれない。ただ、  
少なくとも、どこかに車を停めて、早く  
書きとめなくては、と焦るくらいには信  
じている。これが何かの核になるのだ、と。  
何の核になるのかわからないのに、妙な  
確信だけはあつた。何かの核になる何か。  
それをペンで手帳に書きとめるときの高  
揚感。

そして、なぜ紙のメモ帳でなければな  
らないのか、それも実はよくわからない。  
思いついたアイデアを音声で録音する  
という人もいる。それが一番早くて確実だ  
という。でも、だめだ。声に出すことで、  
それを再生して耳から聞くことで、何か  
が変容する。忍び足で逃げていくものが  
ある。とっさのアイデアはスマホに入力  
しておけばいい、という人もいる。あと  
でパソコンに移し替えるにも便利なのだ  
そう。でも、それも、だめだ。入力し、  
変換する。その作業の間に消えてしま  
うものがある。

それなのに、なぜか運転中に来る。あ



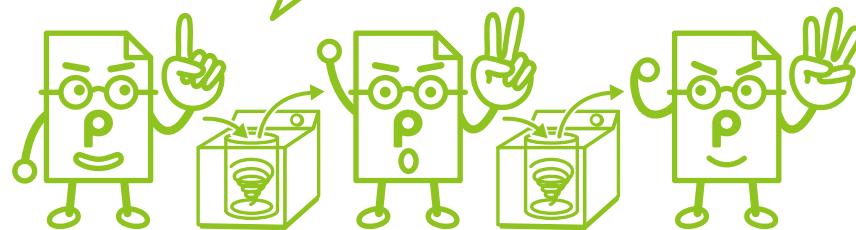
みやした・なつ●作家。福井県  
生まれ。上智大学文学部卒  
業。2004年、「静かな雨」が文  
学界新人賞佳作に入選しデ  
ビュー。12年、『誰かが足りない』  
が本屋大賞にノミネート。16  
年、『羊と鋼の森』で第13回本  
屋大賞を受賞。同作は直木賞  
候補作にもなった。『遠くの声  
に耳を澄ませて』『よるこびの  
歌』『太陽のバスタ。豆のスープ』  
『田舎の紳士服店のモデルの  
妻』『とりあえずウミガメのスー  
プを仕込もう。』など著書多数。

るいは、もつと思いがけないときに。た  
とえばプールで泳いでいるとき、映画館  
で映画を観ているとき、お風呂に入っ  
ているとき。どうして今？ というときは  
かりだ。紙を持っていないときを見計ら  
たように来る。しかたがないので、お風  
呂から「書くもの持ってきてー」と叫ぶ。  
映画館では暗がりの中でこっそり膝の上  
でメモを書く。劇場内の明かりがついて  
から見ると、ほとんど読めない文字だ。  
プールでは、あきらめて上がるしかない。  
レストランで食事中に思いついて、紙  
ナプキンにペンを走らせたこともある。  
レシート裏に細かい字でびっしり書い  
たこともある。広告の端に書いたことも  
あるし、本のしおりに書いたこともある。  
どうしてこんなときに、と思いついて、  
息を止めて書く。いつかメモ帳や紙ナプ  
キンや広告の端に書きつけた何か、何  
かとながって、大きくて確かなものに  
育つことを願って。

## ペーパー君のつ・ぶ・や・き 活動

### 紙の人生は、3回以上ある。

紙は「パルプ」と呼ばれる木材などの植物繊維の集合体。だから、ときほぐして、  
インクなどの余分なものを取り除けば、また紙になれるんです。ちょうど洋服を洗う  
みたいに、紙専用の洗濯機でかき混ぜると、トロトロの繊維の状態に。何度もくりか  
えずと繊維は劣化していくけれど、一般的には3~5回もリサイクルできるんだって。



紙のことをもっと伝えたい。詳しくは、  
「ペーパー君のつ・ぶ・や・き」WEBサイトをご覧ください。 <http://kamitsubu.com/>

今回は8月2日号、井山裕太さんです。

提供 ● 日本製紙連合会 <http://www.jpa.gr.jp>

福井市 養浩館庭園・櫛形ノ御間にて

photo: Shiro Miyake